不登校初期対応マニュアル

富士宮市立富士宮第三中学校

本人（保護者）	学級担任・学年部	学校（組織対応を基本）
未然防止		
・保健室への来室が多い。 ・相談室への来室が多い。 ・SC への相談がある。 ・先生方に相談がある。 ・自傷行為などの心身のあらわれが見える。	・アンテナを高くする。 ・休み時間の生徒の見取り。 ・授業中の生徒の見取り。 ・部活動中の生徒の見取り。 ・教職員の情報交換。 ・家庭との連携。	・些細な情報も、生徒指導主事に連絡。 ・生徒指導主事は学校長、教頭、教務主任に必ず伝えると共に、学年部と情報を共有し対策を練る。
1 日目		
何らかのサインが出ている例 ・遅刻や早退が多い。 ・体調不良が多い。 ・週明けの欠席が多い。 ・リーバによる心の健康観察で不調のマーク。 ・表情が暗い。 ・保健室に行く回数が増える。 原因 ・学業不振 ・友人関係トラブル ・家庭環境の変化 ・教師への不信感 ・進学、進級の不適応 ・長期休業による生活リズムの崩れ ・漠然とした不安 ・感染症等に対する不安	**A：朝、保護者から欠席連絡あり** ①欠席の理由が明確であるか確認する。 例：発熱→何度くらいか？通院は？等 腹痛、頭痛、怪我等でも状況確認 ※必ずその日のうちに、電話や連絡帳で保護者に、様態の確認、配付物の確認、明日の予定の確認、諸連絡等を伝える。 **B：8:00 の時点で不在。保護者から連絡なし。** ①担任は職員室に連絡を入れ、連絡の有無を確認をする。 ②級外は即、保護者へ電話連絡をする。自宅にいなければ職場へ。 ③連絡がつかない場合は、担任もしくは他の教員が家庭訪問をし、安否を確認する。 ④安否が確認できない場合は、生徒指導主事に連絡し、学校全体で動きの共通理解を図る。 **C：保護者から「子供が学校に行きたくないと言っている」との連絡があり、原因は不明。** ①担任は主任に、主任は生徒指導主事に伝える。 ②担任は、その日のうちに保健室登校や他の生徒の活動が少ない時間に登校を促すなどして、相談できる環境を整える。	・職員室の職員・級外が連絡をとる。（担任了承のもとで行う） ※基本は、担任が家庭訪問。学級は他の教員で指導が好ましい。 <生徒指導主事> 校長、教頭、教務主任、学年主任で動きの確認。 １時間経過し、安否確認できない場合は警察に連絡。 <生徒指導主事> 校長、教頭、教務主任に連絡。

	③登校しなかった場合、担任はその日のうちに、家庭訪問をする。	<担任> 校長、教頭、教務主任、学年部に報告をする。
2日目		
保護者の思いや気持ちを聞き取る。	①連絡がつかない場合 １日目と同様（パターンB） ②保護者からの連絡あり １日目と同様（パターンA、C） ※欠席理由が病気の場合でも、不登校の兆候がないかを疑う（考える）。 ※出席停止や明らかに病気や怪我が理由の場合以外は、電話連絡もしくは家庭訪問を行う。 →保護者・本人と話すことが大切 ※このときに、担任以外の教員も一緒に家庭訪問する。（多くの教員の目から判断する。） ③不登校の兆候が多少でも見られた場合 ・生徒指導主事に報告 ※「君のことを心配しているよ」「待っているよ」等、受容の気持ちを表しながら話をする。様子を見ながら登校刺激を与える。	<生徒指導主事> 校長、教頭、教務主任に連絡。その後、不登校対策委員会を開き、今後の指導方針を決める。
3日目以降		
保護者の思いや気持ちを聞き取る。	・基本的には家庭訪問し、連絡を取り続ける。体調や様子を把握するとともに温かい声かけを行う。 ※学校とのつながりを感じさせたい ※生徒の得意なもの、好きなものを突破口にしていく。（ゲームなどでもよい。） ※連続でない場合も、欠席の多い生徒（１ヶ月に７日以上の欠席）には家庭訪問をする。 ※保護者に対しても、あせらない、不安にさせない関わりを考えていく。 ※担任１人で抱え込まないようにし、家庭訪問は、学年部で協力体制をとる。 ※基本的には傾聴し、生徒の言い分をじっくりと聞く。（容認や許容できない内容がある場合も、話だけはしっかりと聞く。）	〈組織として〉 ・対応できる教員がいないか話し合う。 <不登校対策委員会> ・SC、外部機関等との連携もとり、登校に向けて支援計画を立てる。 ※組織で対応することを基本とする。

＜初期対応後の指導のポイント＞

○ 学校に登校することをゴールにしない。ゴールはあくまでも、将来社会に出て行くための力をつけること。相談センターやフリースクールなどの方法もある。

○ ソーシャルスキルを身に付ける学活を行っていく。

○ 本人のやる気が充実するまでじっくりと待つことを基本とする。

○ 連携については、以下のように対応する。

・本人や保護者の不安の解消には、SC

・長期化する可能性がある場合には、不登校支援員

・ケース会議や外部機関との連携が必要な場合は、SSW